



イソブキ便り

NO.1 平成23年度 上半期号

須佐連絡先 080-3458-0925 / 0557-23-3501 mamo@knossos.jp



薫風の初議会

今日は穏やかに晴れわたり心地よい海風が吹いています。夏物のダブルのスーツに議員バッチを付ける瞬間。議員としての自覚が少し芽生えた気がします。そのスーツを着て、当選証書と和泉先生からいただいた色紙を手にして、記念写真を撮りました。(5/20)

宮城・岩手震災の地へ

岩手県3泊4日(車中泊)の旅に出かけました。かなり勇気があることでしたが先輩議員がGWを利用して出かけたと聞き行動に移しました。私が議員になるうと思っただきなきっかけです。



リアス式の入江は、ことごとく波にさらわれていた。(陸前高田付近)

この目で見ようと思いましたが一日だけでしたがボランティアで作業も体験し、自分にとって人間を成長させる旅だったと思います。(6/4)

初めての一般質問へ

私の前に5人の議員が登壇、議論が白熱しました。主に防災問題と疲弊した町内経済、浜岡原発のことに質問が集中しました。

「まちづくり協議会について」「まちづくり協議会の住民生活部会長を務めていたことから、特に大川・北川の子供たちの通学費補助問題、自主運行バスについて取り上げました。」「行政改革について」「広告入り公用封筒やホームページのバナー広告など、町の収入への取り組みについて質問。」「観光政策」「自然体験をメインにしたグリーンツーリズムについて町長の考えを聞く。」「防災への取組」「国道・町道に続く第三の道を東海岸に建設することを町を通じ要請

無事質問し答弁をいただく

ことができず。VHS(当町はお金がないのでいまだにビデオ)を見ましたが、滑舌が悪いしモゴモゴ…。若々しく質問したいですね。(6/24)

イズシカ問屋など視察

山田議員・飯田議員と伊豆市にある有害鳥獣の食肉加工施設「イズシカ問屋」を視察しました。これは年々深刻化している鹿による被害を減らそうと市が駆除にのりだしたもので、今年4月のオープンには知事も駆けつけ落成式を行いました。

ヘルシーで高品質のシカ肉を旅館・ホテル、あるいは一般家庭に提供し使ってもらうことでおいしさを認めてもらい、需要を図りたいとのことでした。伊豆の真ん中の伊豆市で“圧をかける”ことにより周辺にシカが逃げていくことが必ずで、これから先は東伊豆町なども同様な対策をとっていくことが必要だと思いました。

次に「東京ラスク」の伊豆工場にお場にお邪魔しました。合

併前の天城湯ヶ島町庁舎を利用した工場で、地元の出身の経営者の方が工場にと立ち上げました。ラスクの味はもちろん満足ですが、従業員の方が満足そうな笑顔で働いていたことがとても印象に残りました。お土産で家族も満足！

その夜は南伊豆のNPOの方たちの招きで、イノシシ肉の試食会に行きました。ウインナーから焼肉、生姜焼き、そぼろ肉を使った一品などどれも最高の味でした。イノシシ肉と何か、そういう次元の話ではない。当たり前です。稲取入谷出身の中華の料理長が試行錯誤して作ったのですからね。(7/15)



非常に衛生的な施設で、ガイドラインもしっかりしていて勉強になりました。

・新人議員として町のため、伊豆半島のために奮闘します (ノ^ ^)

・詳しい内容は、ブログ・議会だより・役場ホームページの議会議事録をご覧ください。

・Facebook / Twitter @MamoruSusa HP http://knossos.jp/iain_mamoru/face1.htm



伊東FM局を視察

伊東FM局通称「なぎさステーション」を視察させていただきました。伊東の温泉街のふれあいセンターにあります。開局が1998年の5月ということ、かれこれ13年経っています。

東伊豆町が抱える問題は多々ありますが、その中に、情報発信の仕方があると私は感じています。

FM熱海では、隣の湯河原町が熱海にお願いして、「FM熱海湯河原」として運営されるようになった経緯があります。これはこの町にとって、とても参考になると思います。

伊東から東伊豆町の観光情報を流して施設を利用してもらえばこんなにいいことはありません。

今回の東日本大震災で、防災に於けるラジオの役割を痛いほど知らされました。東北の被災地では、緊急的に防災FM局を立ち上げた自治体もけっこうありました。(7/27)

被災地へ視察研修に出発

私たち町議会文教厚生常任委員会一行は、岩手県山田町から葛巻町への視察研修に出かけました。(8/22~25)

山田町では被災されたお宅の解体とガレキ撤去をさせてもらいました。

今回は東京の海洋大学の学生さんと一緒に作業しました。10人位いたでしょうか。みんな立派でした。女の子もどろどろになってガレキ・汚泥と格闘していました。ただ黙々と作業を続けていました。私はあの子たちのような若者があやうくて頑張っている限り、この国は大丈夫だと感じました。もちろんわれわれ委員会のアラ60~70の皆さんも頑張っていました。これも素晴らしい。

沼崎町長さんと作業後面会してお話をいただきました。絶望の中で、それでも光明をみつけるため頑張っている。心打たれました。

つぎに私たちは葛巻町に向かいました。町立葛巻国保病院

まで行き、医療のことにつき事務局長さんから話を聞きました。なんとこちらの事務局長さんは私の親戚なんですよ。

午後からはいよいよ自然エネルギー施設を見学に行きました。福島のある自治体の方と一緒に、議長副議長も同席していろいろと話を聞きしました。何とこちらの副議長さんも親戚です。偶然視察先の葛巻が、母方の実家の盛岡に近かったため、こういうことが実現しました!

バイオマス発電施設、地場産のカラマツを使った体験施設の見学や山ぶどうで造ったワインの試飲もしました。



東京の海洋大学の学生さんと一緒に作業しました。ガレキ・汚泥と格闘でした。

9月議会はじまる

「当町の防災対策」視察を踏まえ道路、天目の風車などについて聞く。

「夏の入り込み状況」SNSの利用を提言。

「教育問題」休みのあり方、放課後児童クラブなど。

「地域づくりインターン事業」若者の視点の良さなど。

この9月議会で、決算審査特別委員会が開かれ、私は特別会計の決算審査を行いました。

町村議会広報研修会

全国各地より議会関係者500名ほどを集めて、町村議会広報研修会が行われました。今回で75回を数えるそうです。

そもそも『議会だより』などの広報誌は、議員自らが作り上げるというのが鉄則になっているようです。ただ、そういった時間的余裕と能力?に乏しいのも実情で、そんなことでこういった研修が開かれるのです。(10/24~25)